

索引

アオゲラ 83
赤石沢川 40、45、
赤石山 24、30、45、
アカギツネ 78
アカゲラ 83、85
アカザ 88
アカハライモリ 93
アカミノイヌツゲ 61
アキアカネ 97
亜高山帯 3、4、5、19、22
亜高山帯針葉樹林 2、4、5、34、58、59、60、66、123、124、125、127
アズマシャクナゲ 61、62
アズマヒキガエル 95
アナグマ 77
アライタ沢 29、40、112
アワラ湿原 40
安山岩 25、28、29、30、31
安代 29
ESD 128、129、130、150
移行地域 24、121、122、128
石の湯 27、29、34、42、143
ニホンイタチ(イタチ) 77
一沼 6、25、26
一の瀬 26、145
イヌワシ 81、82
岩倉沢 42、143
岩菅山 2、5、6、16、24、29、30、31、35
イワナ(ニッコウイワナ) 87、131
イワヒバリ 81
上ノ小池 6
魚野川 4、5、6、52
宇木のエドヒガン 144
渦巻き状溶岩 32、34
裏岩菅山 2、3、5、24
SDGs 121、139、148、150
エゾイトトンボ 96、97
エゾユズリハ 70
ABMORI 128、129、133、153
オイカワ 88
オオカメノキ 66
オオシラビソ 5、19、34、59、60、63、64、66、67、82、145
大滝の滝 27
大沼池 26、40、42、45、46
オオルリボシヤンマ 96
オガラバナ 61
奥志賀高原 3、34、58
オコジヨ 4、77
おたの申す平 25、33、64、124、125、127

落合地すべり 27、55
オヤマボクチ 137、138
温泉熱利用 51、138、139
塊状溶岩 34
外来生物、外来植物 131、134、135
カオジロトンボ 97
核心地域 24、121、122、128
角間、角間温泉 29、47
角間川 6、24、25、27、30、40、42、46、52、55
カゲロウ 89
火口湖 26
笠ヶ岳 2、24、30、31、32、35
火山活動 24、26
火山麓扇状地 6
カジカ 88
カジカガエル 95
化石湖 26、34
河川勾配 52
河東山地 24、37
上条堰 111、112
カヤクグリ 81
カラカネトンボ 96、97
カワガラス 84
カワゲラ 89
河原小屋 29
環境学習プログラム 129
環境省生物多様性センター 64
緩衝地域 24、121、122、128
上林 29、33
澗満滝 27、146
気温減率 16
キクイタダキ 82
気候変動 20、148、149
木戸池 6、26、29、46、47
キビタキ 84
ギフチョウ 98
共益会 107、118
巨石工法 37、133
草津道(草津街道) 47、117
杓野、杓野村 107、108、109
杓野日記 110
熊の湯 29、42、47、49
倉下川 40、42、43、52
グリーンタフ 28、29、36、37、146
クロサンショウウオ 93
クロジ 4、82、83
クロベ 60、63
クロマメノキ 71、97

溪谷 6、146
 剣沢ダム 132
 ゲンジボタル 96、143、144
 原種イワナ保存・保護 131、132
 原生林 2、34
 高山帯 4、5、71
 鉢山 32、109
 高社山 2、32、38
 更新世 30、31
 高層湿原 3、4、45、68、134
 コカリナ 140
 国際生物学事業計画 (IBP) 123、125、126
 湖沼 6、26、43
 湖成層 26、34
 ゴゼンタチバナ 61、62
 小林一茶 153、156
 コヒョウモンモドキ 98
 コメツガ 34、59、60、63、64、66、82
 五輪山 30
 佐久間象山 109、110、144
 サクラマス(ヤマメ) 87
 雑魚川 4、24、40、43、52、132、146
 佐野遺跡 104
 サバタケ 137
 サワガニ 91
 山論 106
 シガアヤメ 58、72
 志賀高原 2、4、24、25、26
 志賀草津高原ルート 25、45、118
 志賀高原ユネスコエコパーク 4、24、35、74、120、129、148、150、153
 志賀山、志賀火山 2、4、6、24、25、31、32、33、34、38
 志賀緑色火山岩類 28、29、31、32、36
 地獄谷 29、42、142
 地獄谷野猿公苑 118
 四十八池湿原 6、25、26、45、68、118、144
 自然保護 122、123
 持続可能 121、122、130、148、149、150
 下ノ小池 6、26
 湿原再生 134、135
 シナノキ 145
 信濃国湯田中温泉園 156
 渋、渋温泉 2、29、47、142
 渋池 25、26
 シマヘビ 92
 清水公園 146
 ジムグリ 93
 樹氷 3
 シュレーゲルアオガエル 94
 象山杉 109
 上信越高原国立公園 24、132
 シラカンバ 6、66、67
 白沢川 40、42、52
 白簀づくり 108
 シラビソ 19、59
 信大自然教育園 126、127
 森林生態系保存地域 121
 水力発電 56
 須賀川堰 111、112
 須賀川そば 137
 硯川 29、42、47
 スノーモンキー 76、118、136
 生物化学的酸素要求量 BOD 42
 生物圏保存地域 (BR) 120、122、148、150
 積雪深 15
 堰止湖 26、34
 雪中りんご 139
 閃緑岩類 28、29、31、46
 ゴーシング 121、122
 第一種特別保護地域 121
 高井火山岩 30、31、37
 高標山 2、31、32
 高天ヶ原 6、26、40、134、135
 ダケカンバ 5、19、66、67
 タゴガエル 94
 タヌキ 78
 田ノ原湿原 6、25、26、68、144、145
 タムシバ 66
 樽川 24、42、43、52
 地球温暖化 20
 稚児池 26、32、145
 チシマザサ(通称ネマガリダケ) 61、62、137
 池塘 45
 中学生が夢みる町づくり討論会 129
 柱状節理 31、146
 チョウゲンボウ 6、84
 ツガザクラ 71
 ツキノワグマ 4、74
 つげんば(付け木) 116、117
 ツマトリソウ 61、62
 ツルコケモモ 68、69
 寺子屋峰 24、30、34
 ニホンテン(テン) 77
 トウキョウダルマガエル 95
 峠の三十三観音 116
 トウヒ 60
 特別保護地区 4、24、121
 トビケラ 90、91
 ドンゾコの池 25、34
 内陸性の気候 14、15
 長池 6、26、33
 長野冬季オリンピック・パラリンピック 115
 ナナカマド 61
 鳴洞滝 27
 西館山 29、31

ニホンイノシシ 75
日本海側の気候 3, 15
ニホンカナヘビ 92
ニホンカモシカ 74, 75
ニホンザル 4, 76
ニホンジカ 75
ニホンノウサギ 78
ニホンマムシ 93
ニホンモモンガ 76
ニホンリス 76
根上がり 63
熱水変質作用 29, 45
年較差 13
ハイヌツゲ 70
ハイマツ 71, 145
ハクサンシャクナゲ 61, 62
ハクビシン 78
ハコネサンショウウオ 93
蓮池 6, 25, 26, 33, 46
鉢池 26
鉢山、鉢火山 2, 24, 31, 32, 38
はやそば 137, 138
ヒオウギアヤメ 72
ヒガシシマドジョウ 88
東館山 31, 35
ヒガラ 82
ヒカリゴケ 67
臂出山 31
ヒメアオキ 66, 70
ヒメイチゲ 71
ヒメギフチョウ 98
ヒメシャクナゲ 68, 69
ヒメモチ 70
氷河時代 70
ひょうたん池 25, 26
平穏火山岩類 30, 31
平床 25, 26, 34, 47
琵琶池 6, 25, 26, 33, 43, 44
V字谷 6, 27, 146
風衝地 5
フォッサマグナ 36
ブナ林 5, 58, 61, 65, 66, 70, 132
分水嶺 24
噴泉 116, 142
ベニヒカゲ 97, 98
坊寺山 30, 31, 35, 146
ホシガラス 81
星川、星川温泉 24, 29, 42, 49
発哺、発哺温泉 29, 47
ホトケドジョウ 88, 99
穂波、穂波温泉 29, 53
マイヅルソウ 61, 62

前坂大根 138
前山湿原 25
幕岩 29, 30, 31, 42, 46, 146
マドリッド行動計画 122
MAB計画 4, 120, 126, 130, 148, 149
丸池 6, 25, 33, 43, 46
三沢川 42
水無池 26
ミズナラ 5, 66, 134
三角池(みすまいけ) 6, 26, 33
ミソサザイ 84
ミツガシワ 70, 71
ミツバオウレン 61, 62
ムササビ 76
ムシトリスミレ 5, 68
ムラサキヤシオ 61
メボソムシクイ 82
モウセンゴケ 68, 69
元池 26
モニタリングサイト1000 64, 127
モリアオガエル 92, 94, 95
焼額山 24, 26, 30, 31, 32, 35, 37
ヤマアカガエル 94
ヤマカガシ 93
ヤマネ 4, 79
湯河原 29
湯田中、湯田中温泉 2, 6, 29, 47, 116, 142
ユネスコエコパーク 4, 5, 120, 121, 122, 126, 130
ユネスコスクール 128, 129, 130, 149
ゆみち遊歩道 136, 137
溶岩台地 2, 5, 25, 27, 34, 64
横倉堰 111, 112
横手山 24, 30, 31, 32, 35, 37, 40, 43
横湯川 6, 24, 27, 34, 40, 42, 46, 52
夜間瀬川 24, 33, 40, 52, 53, 54
落葉広葉樹林 3, 5, 65
リマ行動計画 149
竜王山 30, 31, 32, 34, 35, 37, 40, 42
隆起 25
緑色火山岩類 28, 29, 31, 32
林冠ギャップ 63
ルリイトトンボ 96
ルリビタキ 82
レッドリスト(レッドデータブック) 99, 126
ロードヒーティング 51, 139
和合会 107, 118
ワタスゲ 68, 69

編集者・執筆者紹介

赤羽 貞幸 (あかはね さだゆき) 編集長

執筆担当パート

第3章、第4章1節・2節

生年

昭和21年生まれ

専門分野

地質学・第四紀学

現在の各種役職 or これまでの各種役職

信州大学名誉教授

志賀高原ユネスコエコパーク推進アドバイザー

元信州大学理事・副学長

元信州大学教育学部長

井田 秀行 (いだ ひでゆき) 編集委員

執筆担当パート

第5章

生年

昭和43年生まれ

専門分野

森林生態学

現在の各種役職 or これまでの各種役職

信州大学学術研究院(教育学系) 教授

信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設 施設長

北信濃の里山を保全活用する会 会長

北野 聡 (きたの さとし) 編集委員

執筆担当パート

第6章3節・4節・5節

生年

昭和42年生まれ

専門分野

陸水生態学

現在の各種役職 or これまでの各種役職

長野県環境保全研究所 自然環境部 主任研究員

水谷 瑞希 (みずたに みずき) 編集委員

執筆担当パート

第1章、第6章1節・2節・5節、第8章1節・2節

生年

昭和48年生まれ

専門分野

森林生態学

現在の各種役職 or これまでの各種役職

信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設助教

日本 MAB 計画支援委員会委員

信州 ESD コンソーシアム運営委員、コーディネーター

浜田 崇 (はまだ たかし)

執筆担当パート

第2章

生年

昭和42年生まれ

専門分野

気候学

現在の各種役職 or これまでの各種役職

長野県環境保全研究所 自然環境部 主任研究員

NPO 法人 みどりの市民 理事

NPO 法人 信越トレイルクラブ 顧問

山本 岩雄 (やまもと いわお)

執筆担当パート

第4章3節、第7章3節

生年

昭和26年生まれ

専門分野

地質 層位学

郷土研究の立場で地域歴史について研究中

現在の各種役職 or これまでの各種役職

山ノ内町文化財保護審議会委員

元山ノ内町ユネスコエコパーク推進員

畔上 不二男 (あぜがみ ふじお)

執筆担当パート

第7章1節・2節・4節・5節

生年

昭和35年生まれ

専門分野

地理学・歴史学

現在の各種役職 or これまでの各種役職

小学校教諭

長野県立歴史館学芸部専門主事

山ノ内町文化財保護審議委員

渡辺 隆一 (わたなべ りゅういち)

執筆担当パート

第8章2節

生年

昭和22年生まれ

専門分野

環境教育・森林生態学

現在の各種役職 or これまでの各種役職

信州大学教育学部特任教授

信州 ESD コンソーシアムコーディネーター

朱宮 丈晴 (しゅみや たけはる)

執筆担当パート

提言

生年

昭和46年生まれ

専門分野

森林生態学

現在の各種役職 or これまでの各種役職

公益財団法人日本自然保護協会 生物多様性保全部主任

日本 MAB 計画支援委員会委員

協力者

本誌の編集を行うにあたり、今までの調査研究の結果や生態写真、地域の活動の提供など多くの方にご協力をいただきました。

ここにご協力いただいた方のお名前を示し、感謝の意を表します。

写真提供者

第6章 動物

哺乳類：畔上正一 鳥類：畔上正一、常田英士

爬虫類と両生類：春日純也

第7章 人と自然の関わり

佐々木正明、渡辺美穂、青木正彦、平澤尚忠、田中久夫

志賀高原ユネスコエコパーク オリジナルロゴマーク



木道にかかる四十八池湿原越しに志賀山をのぞむ、志賀高原ユネスコエコパークの雄大な風景をモチーフにしています。



山ノ内町の概要

山ノ内町町民憲章

(昭和50年4月1日制定)

わたくしたちは、雄大な志賀の山なみにかこまれて生きる
山ノ内町の町民です。

より美しく豊かな住みよい町にするためにこの憲章を定め、
心のかてとして、くらしのよりどころとします。

- 1 自然を愛し、水と緑の美しい町にしましょう。
- 1 きまりを守り、みんなで助けあい明るい町をつくりましょう。
- 1 元気ではたらき、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 教養をふかめ、かおり高い文化の町をつくりましょう。

町章



昭和30年4月に平穏町、穂波村、夜間瀬村が合併し現在の山ノ内町となりました。これら旧1町2村は、地形的に四面山嶺に囲まれた盆地の中に分布し、古くから山ノ内盆地と呼ばれてきました。周辺の人々から「山ノ内へ湯を浴びに行こう」と温泉の代名詞のように親しまれていたことから山ノ内町となりました。この町名からデザインされた町章の周りを囲む3つの山は旧1町2村を意味し、新町発展に向けた協力を表しています。

山ノ内町シンボルマーク



yamanouchiの頭文字「y」をモチーフに、ブルーは清らかな川・澄みきった空、グリーンは美しい豊かな自然を表し、高原に吹くゆったりとした風を組み合わせています。3つの風は「平穏」「穂波」「夜間瀬」が合併してできた町の歴史も表しています。風は未来に向かって吹き、町のさらなる発展と飛躍を表しています。

町花・町鳥・町木

町花 りんご



うっすらと紅がさした小さな花卉のりんごの花は、春に咲く代表的な花です。斜面を染めるそのみごとな美しさはこの町を象徴しています。

町鳥 うぐいす



春になると雪の消えた山里に再びにぎわいが戻ってきます。そんなとき、透き通った大気にこだまするのはうぐいすの鳴き声。それは水と緑の町の象徴です。

町木 つが



つがは亜高山帯を代表する針葉樹。夏は日の光を一面に浴び、冬は風雪の重さに耐えて力強く立つ美しい勇壮なその姿は、この町の人々の象徴です。

位 置

役場所在地 北緯36° 44′ 42″ 東経138° 24′ 45″ 標高585m

土地の利用区分(資料：国土利用計画) 合計 26,590ha

農用地 1,025ha (3.9%)、森林 23,452ha (88.2%)、原野 528ha (2.0%)、

水面・河川・水路 444ha (1.7%)、道路 223ha (0.8%)、宅地 332ha (1.2%)、その他 587ha (2.2%)

最高標高(裏岩菅山山頂) 2341.0m 最低標高(十三崖) 424.0m 標高差 1905.0m

人口・世帯

住民基本台帳(令和2年4月1日現在) 人口 12,148人、世帯 5,032世帯

年齢3区分別 65歳以上(老年人口) 4,929人(40.6%)

15～64歳(生産年齢人口) 6,200人(51.0%)

15歳未満(年少人口) 1,019人(8.4%)

人口内訳 日本人 11,911人、外国人 237人

産業別就業人口

就業人口(平成27年国勢調査) 7,097人

産業別割合 第1次産業 25.0% (1,772人)

第2次産業 16.8% (1,192人)

第3次産業 57.7% (4,096人)

観光業

観光地延利用者数(観光商工課統計資料) 令和元年 4,320千人

内訳 志賀高原 2,340千人、湯田中渋温泉郷 950千人、北志賀高原 1,130千人

観光消費額(同) 令和元年 235億円

内訳 志賀高原 126億円、湯田中渋温泉郷 41億円、北志賀高原 68億円

外国人宿泊者数(同) 令和元年 102,678人

商工業

商業(経済センサス活動調査) 平成28年

124店舗 従業員数 442人 年間商品販売額 6,440百万円

製造業(工業統計調査) 平成30年

7事業所 従業員数 136人 製造品出荷額等 1,824百万円

農 業

農家数(農林業センサス) 平成27年 925戸

内訳 販売農家数 599戸 自給的農家数 326戸

経営耕地面積(同) 平成27年 610ha

内訳 田 63ha、畑 58ha、樹園地 488ha

志賀高原BR登録40周年記念誌

やまのうちの自然とくらし

2021年(令和3年)3月発行

(発行)

長野県山ノ内町

(編集)

山ノ内町 観光商工課 ユネスコエコパーク推進室

〒381-0498 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏3352-1

電話 0269-33-1107 FAX 0269-33-1104

URL <http://town.yamanouchi.nagano.jp/>
